

山口県杖術協会

活動紹介

2025年6月15日(日)天候[晴れ]
[12:30~14:30]

取材地

市民センター

レポート

山口県杖術協会は、深い歴史のある武道「杖術(じょうじゅつ)」を学び、保存するべく研究・練習をする団体である。杖術とは、剣と槍と薙刀(なぎなた)を合わせた型や技であり、老若男女を問わず気軽に始められて、学び競うことができる。主な活動内容としては、山口県杖術協会所属の道場で毎週神道夢想流杖術の稽古、年4回の講習会や演武会の開催、日本杖術協会加盟団体として競技会・錬成会へ参加等をしている。

山口県杖術協会の稽古では、念入りな準備体操の後、型・技の練習をペアや全体で行っていた。その稽古風景から、型・技のバリエーションの多さや迫力に圧倒された。また、杖術を実際に体験させてもらいと、決まった動きをスムーズに行う難しさやその動き一つ一つに込められた相手への態度・礼儀、勝敗の見分け方・振る舞いなどをよりわかりやすく理解することができた。

ここには、武道としての杖術の本質や歴史を探りたい人、難しい技を極めたいと熱心に取り組む人、仲間と一緒に稽古することを楽しんでいる人など、さまざまな思いをもつ人々が集まっていた。中には、尊敬する人が武道や剣術に関係していることから興味を持ち、体験をきっかけに通い始めたという人もいて、その動機が多様さに驚かされた。皆、それぞれの理由を大切にしながらも、真剣に稽古に向き合っている姿が印象的で、技の習得には時間と努力が必要になるが、それを共有し支え合う空気が感じられた。個人の目的は違っても、同じ空間で稽古を重ねる中で、自然と一体感が生まれていた。杖術が単なる武道にとどまらず、人と人をつなぐ場にもなっていることを強く感じた。

状況写真



稽古の様子



稽古の様子



杖術体験



稽古の様子



杖術体験